

故・山田順作さんに旭日単光章 【叙勲】地方自治功労

生前、数々の功績を残し、平成29年5月3日に逝去された元町議会議員の山田順作さん(14区)が旭日単光章を受章されました。

山田さんは、平成8年4月、町議会議員に立候補し当選。以来、平成20年4月まで3期12年在職されました。その間、総務常任委員会委員長などを歴任し、地方自治の発展と住民自治の向上に尽力、貢献されました。

(写真右:叙勲の伝達を受けるご子息の山田一晴さん)



県身体障がい者福祉大会会長表彰受賞 町身体障害者協議会の岩渕さんと松好さん

町身体障害者協議会の岩渕英司さん(21区)と松好芳美さん(16区)が、7月14日に盛岡市で行われた「第59回岩手県身体障がい者福祉大会水と緑のまち盛岡大会」において自立更生者として岩手県身体障がい者福祉大会会長表彰を受賞しました。

岩渕さんと松好さんは、長い間さまざまな活動に積極的に取り組むなど障害者福祉の向上のためにご尽力されており、今回その功績が認められ表彰されました。



平和への誓いを新たに 平泉町戦没者追悼式

町主催の戦没者追悼式が8月10日、平泉ホテル武蔵坊でしめやかに営われました。

式には遺族ら約100人が参列。黙祷に続き、町遺族会の加藤寛義会長は「全ての人々が平和で心豊かな世界となるようたゆまぬ努力をする」と誓いました。また町内の女声合唱団「コール・ファンタジー」が追悼の歌をささげ、最後に参列者が祭壇に白菊を手向けて静かに手を合わせ、戦争で犠牲となった先人の冥福を祈りました。



県南地域の祭りを楽しむ まつりフェス! in 平泉

7月30日、観自在王院跡を会場に県南地域の伝統の祭りや工芸、食などを集め、来場者参加型の企画を加えたイベント「まつりフェス! in 平泉」(同実行委員会主催)が初めて開かれました。

県南地域に伝わる踊りや郷土芸能だけでなく、創作踊りやヒップホップなどの演舞もあったほか、来場者も踊りの輪に参加するなど、多くの来場者が各地の祭りの魅力を味わいました。

栃木県・福島県での県外リーダー研修 ジュニア平泉文化歴訪団

町内児童5・6年生30人が8月2日から4日までの二泊三日の日程で、県外リーダー研修を行いました。

訪問地では、栃木県日光市にある世界遺産「日光」で世界遺産学習に取り組み、「華厳の滝」、「中禅寺湖」では自然学習について学びました。また、福島県白河市では、当時の奥州平泉の南端にあった「白河の関」を見学。同県国見町では「阿津賀志山防塁跡」を見学するなど、当時の奥州平泉の広がりや藤原氏とのつながりについて学習しました。



来庁者の目を楽しませる グループホームけーせんの七夕飾り

グループホームけーせんの利用者らが作製した七夕飾り3本が役場ホールに飾られました。くす玉の下に細長い和紙などを垂らした長さ約2mの吹き流しが風に揺れ、来庁者の目を楽しませていました。

7月31日に役場を訪れた同ホーム利用者は、七夕飾りのきれいな出来映えに満足している様子でした。制作者の1人である鈴木カツ子さんは「上の部分の花を付けるのが難しかったが、きれい出来た」と満足げに話していました。



藤原氏最期の地を訪ねる秋田研修 ときめき世界遺産塾

ときめき世界遺産塾とは、県南地域の小中学生を対象に、平泉の文化遺産についての学習を通じて郷土の宝を守り育てる気運を醸成するとともに、世界遺産の拡張登録および保護・活用を推進するリーダーを育成するものです。

全6回講座のうち2回目となる今回は、8月7日から一泊二日で秋田県内で研修を行いました。研修先は、藤原泰衡を祀った錦神社や世界遺産登録を目指している大湯環状列石などで、体験活動を含めながらしっかりと学習しました。



安全運転を呼び掛ける 眠気覚まし「梅干し作戦」を展開

8月6日、町交通安全母の会連合会が主催する「梅干し作戦」が中尊寺第1駐車場、第2駐車場、毛越寺駐車場の3カ所に分かれて実施されました。

この取り組みは1976年から毎年実施されているもので、「過労運転で交通事故を起こさないように」との願いを込め、疲労回復に効果があるという梅干しを配布しています。

当日は関係者ら約40人が参加。ドライバーに梅干しやタオルなどを配布し、安全運転を呼び掛けました。